

市政の窓



No.51

市民協働推進に向けて

1月は、恒例の新春行事が開催され、また、多くの団体から新年会のお声が掛かるなど多忙な日々を過ごす月でありま

すが、去る20日、市民ふれあいセンターにおいて千葉大学の関谷昇准教授を講師に迎え、「市民協働のまちづくり講演会」を開催いたしました。

時節柄、参加状況が心配されましたが、予想を超える多くの方々にご来場いただき、講演後は活発な質疑応答が行われるなど市民協働に対する関心の高さを感じました。

協働とは、文字通り「同じ目的のために共に協力して働く・活動する」という意

味で、地域社会においては、防災や環境、福祉などさまざまな課題に対して、住民と行政が連携・協力して取り組むこととして、まちづくりを進める上での重要なキーワードとなっています。

私自身、市民協働は主に「市民または市民団体と行政」というように行政との関わりを前提とした枠組みで行われるものと理解して

いましたが、先進事例では、地域住民とボランティア団体等が協力してコミュニティ対策や高齢者対策に取り組むなど、「住民と市民団体」「住民相互」による協働のまちづくりが進められていることを学びました。ただし、そのためには、行政が地域の実情や課題、ニーズをしっかりと把握し、

関係者が上がりやすい土俵をつくり、側面からの支援に努めなければならぬと考えています。

私の市長マニフェストでも市民協働を重点施策として位置付けており、ただ今「市民協働指針」の策定に向け、市民協働のまちづくり委員会を設置するための準備に入っております。

正月の講演会に当たり、まずは日本創成会議で指摘された消滅可能性都市からの脱却を目指し、「市民参加」「安心・安全」「産業振興」を基本方針とする新生匝瑳のまちづくりを市民の皆さまと協働して取り組んでいこうと決意を新たにしたいところです。

匝瑳市長 太田安規

図書館だより



休館日…毎週月曜日
臨時休館日…5日(木)～10日(火)
祝日開館日…11日(水) 9時～17時

◆「蔵書点検」を行います

蔵書点検とは、お店でいう「棚卸し」のことです。図書館にある本一冊一冊を点検することで、「返却ミスや紛失資料はないか」「資料が別の棚に並んでいないか」などを確認し、図書館を最適な状態に保ちます。5日～10日は、年1回の蔵書点検のため臨時休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

《返却》休館期間中も、本・雑誌は、「返却ポスト」を利用して返却できます。DVD・CDは、開館期間中にカウンターへ返却してください。

《学習室》5日と10日は利用できます。

◆おはなし会(八日市場図書館)

日時…14日(土)、21日(土)、28日(土)
14時から約30分間

問八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

◆ドリームキッズ(のさか図書館)

日時…28日(土) 10時30分～
内容…本の読み聞かせや人形劇など

問若林 ☎67-5965

寄付(2万円以上)

●社会福祉協議会へ

匿名の人より …96,114円

文芸コーナー

短歌

小泉 泰清 推薦

雨露をこぼさぬ程に枝を張る楓がつくる雨後の電飾

亀崎 青木 秀子

去年までは翁の耕す畑なりし背高泡立草黄の花盛る

飯倉台 多部田佐智子

冬陽受けふくらむ布団はおもてなし泊り客へのお年玉

八日市場イ 鈴木 和子

霜降りて茶色くなりし小さき株春になりせばと期待して置く

西小笹 伊藤 英子

薔薇色に染まる夕空仰ぎつつ歳晩の町を家路に急ぐ

高野 鈴木 知子

新春の透明な風追ひかけて駆けゆくロングヘアの少女

八日市場イ 椎名 昭雄

産まれたる妹抱く女孫見ゆ写メール越しに微笑み合えり

安久山 木下 昌子

川口 城司 推薦

荒波にもまれて漂着したる樹のとがる根白くサンゴのごとし

栢田 渡辺 重雄

孫の持つスマートフォンに導かれ目的場所に難なく着きぬ

野手 石田 秀子

山鳩の朝一番のなき声に起き出で今日の一步始まる

今泉 小川みさ子

頭の中吹き抜ける幾日過ぎ医師に診断受ける決意す

野手 佐藤千枝子

母のように寄りそって歩いてくれた叔母よ私の道しるべだった

堀川 石井 みい

俳句

八木 佐久司 推薦

初凧の太平洋の沖に船

八日市場八 西野 棠雨

富岡の薬師

富岡を歩く

富岡区(豊栄地区)は、国道296号に並行する小高い台地上に寺院や神社があり、その周辺と台地縁辺部に集落があります。

現在の大字は江戸時代初めから明治22年3月までの村で、その成立はおよそ400年ほど前にさかのぼり、1630年代には各村の村域がほぼ決まったようです。市内の旧八日市場市域52か村、旧野菜町域6か村の計58か村のうち、

中台村(匠瑳地区)とこの富岡村だけが成立経過が他村と異なっています。

1700年代の村名を知ることができる「元禄郷帳」には、この2か村の記載が見られません。1830年代の「天保郷帳」に単独村として出てきますが、「松山村の内」とあります。つまり、富岡村と中台村は、この130年間のある時期に松山村から分離独立したことになります。

村名の書かれた石造物などを調べると、1721年のものに「富岡邑薬王寺」とあり、この頃から村名が使われ出し、領主の旗本も独立を認めたのでしよう。

薬王寺に関しては、大正10年に刊行された『匠瑳郡誌』に「薬王寺並びに薬師如来の由来」が記載されています。

それによると、本尊・薬師如来像は古くから千葉家に伝来し、1590

年の小田原落城の折、家臣・飯島土佐守が像を抱えこの地で一夜の宿としたのが弓削寺だったといわれています。この寺は、奈良時代の僧・弓削道鏡にまつわる寺とされ、記録が書かれた1657年8月に弓削寺が現在地に移され、薬王寺となったと記録されています。

1720年から1770年代にかけて、弘法大師像や鐘楼堂(釣り鐘堂)、山門などが建てられ、薬王寺の景観が整備されました。同時期にまつられた石造物にも「富岡村中」「村中善男女」「郷中善女人」と見え、村全体で活動した様子が知られます。1843年ごろの富岡村の家数は32軒でした。

集落に多い飯島姓の祖先とされる土佐守と薬王寺創建を伝える記録の実物、薬師如来像を拝見する機会はまだありませんが、本堂(薬師堂)正面には「奉納四十九堂」「奉納百堂」と書かれた下に、新盆精霊や追善供養戒名のお札が貼られ、地域の人たちにこの薬師堂は溶け込んでいます。

(元 市職員・依知川雅一)

関秘書課広報広聴班

☎73・0080



薬王寺の薬師堂

調律の報す一音日脚伸ぶ

石仏の貌みな拝しみくぢ結ぶ

神鈴を海へ誘ふ寒茜

荒海の能登の寒鯛とどきけり

福来たれ来たれ来たれとたるまし

文鎮の位置を正して筆始め

淑氣満つ夫の遺愛の弓と矢と

川口 城司 推薦

人日や鈴菜多目の粥旨し
寒風や木の芽は固く揃ひをる

栢田 伊藤 定子
栢田 石田 健

川柳

鈴木 十世志 推薦

水仙は真冬の庭に香しく

初荷にて真っ赤なリング届けられ

おめでとう真っ先に来る孫達よ

真剣な話にほろり払い込む

真っすぐに残り人生終わりたい

真心を込めて手書きの年賀状

真心に従ってきました五十年

異人より孫の片言聴き取れる

川口 城司 推薦

笑顔には苦手の珈琲飲み乾して

栢田 石田 津

力作 募集中

あて先：匠瑳市秘書課広報広聴班

〒289-2198

匠瑳市八日市場八793番地2

☎73・0080 FAX72・1114